

FIDIC Award 大賞を受賞

海峡横断地下鉄工事で

オリコンサルグローバル

オリエンタルコンサルタンツグローバルは、インドネシアのジャカルタで開かれたFIDIC (国際コンサルティング・エンジニア連盟) 2017年次大会で、同社がコンサルタント業務を手掛けた「マルマライプロジェクト」ボスボラス海峡横断地下鉄工事」が、「FIDIC Award 2017大賞」を受

賞したと発表した。

「FIDIC Award」は経済発展や地域社会の生活



授賞式に参加した宮越一郎代表取締役常務役員技術本部長(左)と錦織敦軌道交通技術第二部長

水準の向上に役立ったプロジェクトを表彰するもので、世界各国から多数応募のあった中から、ことしは同プロジェクトを含む3つのプロジェクトが大賞を受賞した。

同社の受賞プロジェクトは、トルコのイスタンブール市のアジア側とヨーロッパ側を結ぶ総延長76・6キロの鉄道プロジェクトで、このうちボスボラス海峡を横断する地下鉄部分13・6キロがトルコ建国90周年に当たる13年10月29日に開通した。現在は、1日約17万人の乗客を輸送している。

横断地下鉄は1860年のオスマントルコ帝国時代に草案が作成されており、日本の資金援助と技術力によって、プロジェクトが実現した。

海峡横断は、フェリーで約30分、海峡大橋で渋滞時に約1時間がかかるが、横断鉄道ではわずか4分に短縮された。同社は02年からコンサルタント業務を開始。計画面の調整、遺跡出土に伴う工事遅延、沈埋函の敷設、密集市街域の環境保全など、多くの困難を克服して開通に至った。事業は現在も継続している。